



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ  
 コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	22,476	5.4	875	2.6	920	5.0	524	9.2
29年3月期第1四半期	21,317	6.5	853	328.5	876	309.7	480	809.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 515百万円 (8.6%) 29年3月期第1四半期 474百万円 (788.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	27.52	
29年3月期第1四半期	25.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	56,076	37,441	66.8	1,964.71
29年3月期	57,146	37,172	65.0	1,950.65

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 37,441百万円 29年3月期 37,172百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		13.00	26.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円 00銭 記念配当 1円 00銭

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円 00銭 記念配当 1円 00銭

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,300	4.8	1,389	34.8	1,415	35.0	770	38.1	40.39
通期	93,500	5.0	4,100	15.1	4,150	18.0	2,250	20.7	118.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	19,063,968 株	29年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	7,216 株	29年3月期	7,216 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	19,056,752 株	29年3月期1Q	19,056,908 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
3. その他 .....	7
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米国における政策運営、中国経済の動向、地政学的リスクの高まり等の懸念により、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、第二の主力業態であるとんかつ業態を中心に出店し、とんかつ業態7店舗、牛めし業態1店舗、その他業態2店舗(国内1店舗、海外1店舗)の合計10店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店1店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第1四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,089店舗(うちFC6店舗、海外8店舗)となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態943店舗、とんかつ業態124店舗、鮎業態6店舗、その他の業態16店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、3店舗の改装(全面改装1店舗、一部改装2店舗)を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、『カルビ焼肉定食、キムカル丼増量キャンペーン』、大創業祭として『プレミアム牛めし50円引きキャンペーン』『カルビ焼肉定食500円キャンペーン』等を実施いたしました。また、新商品として「豚バラにんにく味噌定食」「選べる4種のチーズハンバーグ定食」「鶏の甘辛味噌定食」「ごろごろ煮込みチキンカレー」「厚切りポークソテー定食」、健康志向メニューとして「定食のライスを湯豆腐に変更可能なサービス」「定食のライスをおろし豆腐に変更可能なサービス」等を導入いたしました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比101.8%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比5.4%増の224億76百万円となりました。

売上原価につきましては、食材の仕入単価変動等により、原価率が前年同期の31.9%から32.2%に上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.1%から63.9%と改善いたしました。この要因は、売上高の増加により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の28.8%から28.3%と改善した一方、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の35.3%から35.6%と上昇したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の67.2%から67.8%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比2.6%増の8億75百万円、経常利益は前年同期比5.0%増の9億20百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比9.2%増の5億24百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は560億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億70百万円減少いたしました。このうち、流動資産は128億86百万円となり、現金及び預金が9億62百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ9億42百万円減少いたしました。また、固定資産は431億89百万円となり、有形固定資産の償却等によって、前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は186億35百万円となり、短期借入金等が増加した一方、未払法人税等の減少、長期借入金の返済等によって前連結会計年度末に比べ13億38百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は374億41百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2億68百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の65.0%から66.8%と向上しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,847,134	7,884,708
受取手形及び売掛金	578,694	606,841
商品及び製品	405,027	382,305
原材料及び貯蔵品	2,314,081	2,726,136
繰延税金資産	516,444	255,753
その他	1,167,877	1,030,948
<b>流動資産合計</b>	<b>13,829,260</b>	<b>12,886,693</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	14,150,840	14,163,141
機械装置及び運搬具(純額)	1,179,454	1,200,553
工具、器具及び備品(純額)	1,400,559	1,406,144
リース資産(純額)	2,121,472	2,003,334
土地	9,255,820	9,255,820
建設仮勘定	190,556	133,187
<b>有形固定資産合計</b>	<b>28,298,704</b>	<b>28,162,181</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	168,810	198,694
その他	67,980	23,485
<b>無形固定資産合計</b>	<b>236,790</b>	<b>222,179</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	66,633	67,839
敷金及び保証金	12,193,250	12,184,521
長期前払費用	468,375	452,170
店舗賃借仮勘定	131,462	201,702
繰延税金資産	958,267	936,217
投資不動産(純額)	606,920	604,345
その他	367,403	368,866
貸倒引当金	△10,718	△10,714
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>14,781,596</b>	<b>14,804,948</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>43,317,090</b>	<b>43,189,309</b>
<b>資産合計</b>	<b>57,146,350</b>	<b>56,076,003</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,657,666	1,686,379
短期借入金	208,517	1,688,800
1年内返済予定の長期借入金	2,928,664	2,888,875
未払金	3,453,508	3,070,257
リース債務	588,978	593,022
未払法人税等	1,513,571	227,177
賞与引当金	986,702	455,458
役員賞与引当金	—	359
資産除去債務	421	—
その他	1,191,295	1,412,671
流動負債合計	12,529,324	12,023,000
固定負債		
長期借入金	4,184,722	3,481,298
役員退職慰労引当金	581,100	581,100
リース債務	1,702,024	1,570,406
資産除去債務	770,795	784,206
繰延税金負債	11,478	11,488
その他	193,917	183,501
固定負債合計	7,444,037	6,612,000
負債合計	19,973,362	18,635,001
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	23,626,848	23,903,538
自己株式	△14,493	△14,493
株主資本合計	37,231,432	37,508,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447	660
為替換算調整勘定	△58,892	△67,780
その他の包括利益累計額合計	△58,444	△67,120
純資産合計	37,172,987	37,441,001
負債純資産合計	57,146,350	56,076,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	21,317,278	22,476,204
売上原価	6,796,951	7,230,034
売上総利益	14,520,327	15,246,170
販売費及び一般管理費	13,667,246	14,370,608
営業利益	853,081	875,562
営業外収益		
受取利息	7,311	6,294
受取配当金	1,215	10,422
受取賃貸料	68,247	63,942
その他	42,817	53,161
営業外収益合計	119,592	133,820
営業外費用		
支払利息	23,784	16,363
賃貸費用	58,320	58,546
その他	13,753	14,095
営業外費用合計	95,858	89,005
経常利益	876,815	920,376
特別利益		
固定資産売却益	672	0
保険解約返戻金	6,907	—
特別利益合計	7,580	0
特別損失		
固定資産除却損	20,879	1,234
店舗閉鎖損失	9,642	566
固定資産売却損	641	310
減損損失	38,035	27,055
その他	1,085	2,094
特別損失合計	70,284	31,261
税金等調整前四半期純利益	814,111	889,115
法人税、住民税及び事業税	74,541	82,029
法人税等調整額	259,162	282,658
法人税等合計	333,703	364,687
四半期純利益	480,408	524,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	480,408	524,427

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	480,408	524,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	212
為替換算調整勘定	△5,433	△8,887
その他の包括利益合計	△5,413	△8,675
四半期包括利益	474,994	515,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,994	515,752
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月27日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、当第1四半期会計期間において、利益剰余金が247,737千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月27日 定時株主総会	普通株式	247,737	13	平成29年3月31日	平成29年6月28日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。